

亀井静香「混乱は私の責任」

分裂状態になって混乱していた国民新党は、亀井静香、亀井亜紀子両氏の離党で決着した。亀井静香氏が9日、語った。

「何が何でも与党に残りたい自見庄三郎金融相と下地幹郎幹事長らと、どうしても連立を解消したくない野田官邸が、初めから合作のレールだった」

何か証拠は。
「官邸で会った野田佳彦首相に『連立を解消する』と通告したとき、首相が『下地さんに対して悪い』と漏らした。下地は樽床伸二幹事長代行と藤村修官房長官に『連立は解消しない』と通告していた」
4月5日夜、下地幹事長が招集し

た6人による議員総会は、亀井代表、亀井亜紀子政調会長を解任すること決めた。院内会派を組んでいる新党日本の田中康夫代表と亀井亜紀子氏は亀井氏に「引き下からず争え」と進言した。田中氏は主張した。

「議員総会は代表が招集するもので、5日の議員総会は無効。代表が招集も出席もしていない。代表変更届を総務省に出したが、国民新党の印鑑は代表の許可なく押されており文書偽造の疑いがある。きちんとした方がいい」
この主張を退けた理由を亀井氏が語った。



4426

「郵政解散のとき、地獄の底で結束した人たち、綿貫民輔、亀井久興さんらは、いま国会にいないが、この人たちに申し訳ない。こんなみっともない姿をさらしているのは自分の責任だ」
そして次の言い方も。

「閣僚に自見を送り込んだのも、下地を幹事長に指名したのも、この亀井だ。私の不徳のいたすと業自得だ」と言った通りだ」
盟友の石原知事にして言葉が過ぎないか。

「抗戦」の進言退け離党

「昔から酒を飲んで言いたい放題を言い合っただ。石原という男は冗談をああいうところで言ってしまうのだ」
亀井氏の言うように、社民党に就いて国民新党が離脱したら孤立感を深める野田政権と、閣僚や与党幹部の居心地を続けた国民新党残留組の利害一致というところか。
田中康夫氏が6日、統一会派離脱を声明した。
「新党日本は2010年6月から亀井静香氏が代表をつとめる国民新党と統一会派を組んでおりましたが、日本再興に向けて理念を共有する亀井代表が離党されました。これに伴い『国民新党』との会派を解消しました」
(政治評論家)